



宮城県立山元支援学校

やまようだより

校訓

【元気に】 健康
【仲良く】 友愛・社会性
【一歩ずつ】 主体性・着実に

令和元年8月23日発行

お祭りについて

教頭 井上 健一

私の郷里である渋川市は、北関東の小さな街です。この街では、2年に1回、祭りが行われます。江戸時代末期の安永年間から始まったといわれるこの祭りは、正式名称を「渋川祇園祭り」、別名では、「渋川けんか祭り」と呼ばれています。京都祇園祭りで曳くような山車を曳いて、街中を練り歩くのですが、その際、曳き手が体をぶつけ合いながら綱を曳いていきます。押しくらまんじゅうをしながら綱を曳くと言った方が分かりやすいかもしれません。山車には、お囃子隊が乗っており、お祭りの間は常にお囃子が鳴っています。旧市街の町ごとに山車を所有していて、現在は渋川市全体で19台の山車があります。お祭りの3日間は、旧市街地のどこにいてもお囃子の音が聞こえます。私の実家は、旧市街地ではなかったのですが、お囃子の音が聞こえるとたまらなくなり、旧市街に住んでいる同級生の町内に入れてもらって、ほぼ毎回参加していました。

いい大人になってから知ったのですが、このお祭りは旧市街19町の自治会だけで運営しています。ある時友達から「官には触わらさねえんだ。」と群馬弁で教えてもらいました。自治会だけで運営すると聞けば、カッコいい話ですが、実際は苦労の連続だそうです。お祭りが終わった次の週末から、2年後の次回のお祭りに向けた打合せが始まります。この打合せはほぼ毎週行われます。打合せには必ず酒がついてくるので、打合せに参加した同級生の無残な話を何度となく聞きました。打合せでは、山車の運行ルートをどうするかというのが最大の問題です。それぞれの町内会には生き字引といわれる御大がいて、この御大にお伺いを立ててからでないと話がすすみません。話を通す順番を間違えて御大が臍を曲げたら大変です。山車の運行ルートを大幅に変えなければなりません。隣の町内を通り抜けるには、隣町に挨拶に行かなければなりません。そんなこんなで、2年間、祭りのための打合せをずっと続けていく必要があるのです。渋川市旧市街地の男たちは、お祭りのために週末を捧げているといっても過言ではないでしょう。

祭りには入念な準備が必要です。ただ馬鹿騒ぎをするのが、祭りではありません。入念な準備を進めていくうちに、仲間同士の絆が強くなり、祭りのボルテージを上げていくことができるのだと思います。9月28日（土）には、やまよう祭が行われます。児童生徒の皆さんが、これまで積み重ねてきた準備と努力で、立派な祭りになることを信じています。また、全力を出し切って、祭りを楽しんでもらえれば、こんなに幸せなことはありません。



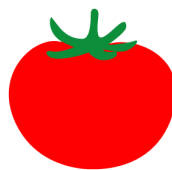
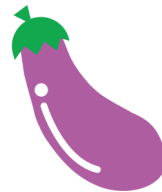
亙理高校との交流会

年2回、高等部ひまわり教室とあすなろ教室の生徒が、亙理高校に行き、生徒達と交流を行っています。今回はひまわり教室の1年1組の生徒5名が学習バス「かりん号」に乗って7月18日に1回目の交流会に行ってきました。あいさつの後、2つのグループに分かれて、自己紹介をしたあとに、トマトやなすの収穫をしたり、花を花壇に植えたりしました。交流した亙理高校の生徒の皆さんは同じ



1年生で自分が収穫したトマトやなすを手渡してくれたり、みんなとても優しく接してくれました。

本校の生徒も自主的に関わりに行くことができたり、意欲的に質問をしたり、成長を感じることが出来ました。とても温かい雰囲気の交流会となりました。



行事予定



8/23 (金) 全校集会, 午前授業, 11:30下校, 給食なし

8/26 (月) 午前授業, 11:30下校, 給食なし

8/28 (水) スクールバス乗車指導

外部専門家活用事業 (スクールカウンセラー)

8/30 (金) 高等部にこここタイム

9/ 4 (水) 避難訓練 (地震想定), あすなろ教室引き渡し訓練

9/ 5 (木) 外部専門家活用事業 (作業療法士)

9/ 6 (金) 職場施設見学会 (保護者対象)

9/13 (金) 小学部プール納め, 第2回PTA役員会, PTA奉仕活動, PTA研修会

9/16 (月) 敬老の日

9/17 (火) やまよう祭学年練習

9/18 (水) 学部専門家活用事業 (スクールカウンセラー)

9/19 (木) やまよう祭全体練習

9/23 (月) 秋分の日

9/25 (水) やまよう祭総練習

9/27 (金) やまよう祭前日準備

9/28 (土) やまよう祭

9/30 (月) 振替休業日